

主な内容

Topics	好評の「みやぎ蔵王弁当」第2弾の販売が決定	2ページ
	前川小6年生 そば打ちにチャレンジ	3ページ
	みんなで見よう 仙南の和牛	
	安全で適切な間伐作業の実施に向けて	
	柴田町に農村レストラン「縄文の幸」オープン	4ページ
	安全・安心な干し柿を生産するために	5ページ
	NNスノーバスターズ出動	
	夢を育み 志に高めよう	
	ものづくり産業の復興に向けた人材育成を推進	6ページ
	橋梁の耐震強化対策・長寿命化事業の推進	
お知らせ	自動車税の課税トラブル防止のための手続きを	
	サギ類の集団繁殖地に注意	7ページ
	みやぎ蔵王三十六景 春のお勧めスポット	8ページ



「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から、選定しました。

## 早期復興に向け 地域一体となって

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経過しました。あらためて1万1000人を超える犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

大地震と大津波はこれまで想像もできなかった規模で、住宅や公共施設など社会基盤はもとより、われわれがこれまで築き上げてきた「地域」そのものを一瞬にして奪い去りました。仙南地域でも、強い揺れによる被害に加え、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響を受けています。

このような中、仙南地域では、被災された商工業の施設・設備の大部分が復旧し、また農地・農業用施設、道路などの応急工事を実施するとともに、国の査定を終えた箇所から順次復旧工事も行ってきたことから、経済活動の多くが再開しております。今なお放射性物質を含んだ稲わらなどの処理をはじめ、風評被害や賠償問題など解決されていない課題が山積していますが、これまで復旧・復興の取り組みが進んでまいりましたのは、困難な状況の下でも、被災者の方々をはじめ関係者の皆さまが強い絆で結ばれ、努力を積み重ねてこられたまものと深く敬意を表するものです。

県では、平成23年10月に今後10年間にわたる「宮城県震災復興計画」を策定しました。今年が復興元年として、発展に向けた復興の種をまく年になります。復興は長く険しい道のりになりますが、沿岸部と比べ比較的被害の少ない内陸部の役割が重要となります。仙南地域がまず復興し、けん引役となることで、宮城県の早期復興、そして発展につながるものと考えております。



地方振興事務所におきましても仙南地域の各行政機関とともに、復旧・復興に向けた取り組みを加速化し、地域の皆さまと一緒に全力で取り組んでまいります。

宮城県大河原地方振興事務所長 山田 義輝

Topics ~大河原合庁の取り組みを紹介します~

好評の「みやぎ蔵王弁当」 第2弾の販売が決定！



平成 25 年 4~6 月にかけて「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)『笑顔咲くたび 伊達な旅』」が開催されます。DCとは国内最大規模の観光キャンペーンで、JRグループ 6 社と地元観光関係者、地方自治体などが協力し、3 カ月間全国的に展開するものです。このキャンペーンの事前イベントとして、今年 4~6 月にかけては「仙台・宮城【伊達な旅】春キャンペーン」が開催されます。

仙南地域では、多くの皆さまに訪れていただくため、観光関連企業、関係機関、行政などからなる仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙南地域部会を組織し、観光素材のPR、旅行商品の企画提案、イベントの開催などに取り組んでいます。その取り組みの一つ「みやぎ蔵王弁当」は、仙南地域の魅力を地域の食材を使った「駅弁」で伝えようと、地元温泉旅館の女将たちが中心となって平成 22 年からスタートしたものです。同年 11 月に発売した第 1 弾が好評だったことを受け、現在、第 2 弾の製作を進めています。

今回は「みやぎ仙南の春」をテーマに、「春の彩りご飯 3 種」「蔵王産純・和豚のみそ漬け焼き」など、食材のほとんどに地元のものを使い、その食材を生かした春らしいメニューにしており、4~6 月まで期間限定で販売します。

価格は 1 個 1000 円(税込み)。JR 仙台駅構内の弁当売店のほか、予約をすれば JR 白石蔵王駅でも購入できます。

「みやぎ蔵王弁当」をお供に、桜、ミズバショウ、スイセン、ポピーなど仙南地域の春の彩りを楽しむ旅、自然の恵みを満喫する旅に出掛けてみませんか。



地域自慢の食材がいっぱい

**弁当予約先**：(株)日本レストランエンタプライズ仙台支社 022(257)2981

【地方振興事務所地方振興部】

DCを地域おこしのチャンスに ~「富県宮城人づくり研修会」を開催~

平成 25 年春に開催される仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)を地域おこしのチャンスにしようと 地方振興事務所では 2 月 21 日に県大河原合同庁舎において、平成 23 年度第 2 回「富県宮城人づくり研修会」を開催しました。東日本旅客鉄道株式会社白石蔵王駅・白石駅の東海林駅長



アドバイスを受ける職員

を講師に迎え、各地のDCのおもてなし事例や地域おこしのノウハウについてご講演いただきました。

参加した約 80 人の県職員や市町職員、商工会・観光協会職員は熱心に聞き入り「おもてなしの心や明るい笑顔も観光資源となることが分かった」「自分たち一人一人が町をよくするという気持ちが地域おこしにつながるといった感想が寄せられました。DCに向けた取り組みや震災からの復興を進めていく上で、大変有意義な機会となりました。

【地方振興事務所地方振興部】

## 前川小6年生 そば打ちにチャレンジ ～農作業体験in前川～

川崎町立前川小学校では、生産者、消費者それぞれの立場から地産地消を学んでもらおうと、地域農業の活性化に取り組んでいる前川地区活性化推進協議会の協力を得て、農作業体験の授業を行っています。

1月25日、6年生7人は、昨年自分たちで種をまき、収穫したそばを使って、そば打ちにチャレンジしました。地区でそば屋を営む丹野さんからご指導いただき、出来上がったそばは、栽培するための畑を提供してくれた協議会のメンバーや関係者など、18人に振る舞われました。

作物の生産から消費までの過程を全て体験した子どもたちからは「自分たちで作ったそばを食べることができてうれしい!」という声もありました。自分たちが一生懸命に育てたソバは格別のおいしさだったようです。



自分たちで作ったそばに大満足

【地方振興事務所農業農村整備部】

## みんなで見よう! 仙南の和牛



高校生も熱心に観察

高校生も熱心に観察

1月27日、仙南地域畜産振興協議会(事務局:家畜保健衛生所)主催で「仙南地域和牛品評会」が開催されました。和牛改良に取り組む農家、柴田農林高等学校の生徒など約100人の参加者たちは、寒く雪が降るあいにくの天気でしたが、熱心に仙南地域から選ばれた20頭の和牛を観察し、良さや欠点などを学んでいました。

また柴田農林高等学校の生徒による審査競技も行われ、難しい和牛の評価に悪戦苦闘していましたが、生徒からは「普段あまり他の牛を見る機会が少ないので、とても勉強になります」などの声が聞かれました。

品評会終了後は、和牛調教師による牛の調教が実演され、参加者は新たな発見をしながらその方法を熱心に学んでいました。

平成29年に和牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」が宮城県で開催されますが、家畜保健衛生所ではその大会で入賞できるよう、和牛の改良にますます力を入れて取り組んでいきます。

【家畜保健衛生所・地方振興事務所畜産振興部】

## 安全で適切な間伐作業の実施に向けて

県では、平成23年度から「みやぎ環境税」を活用し、健全な森林を育成する間伐に対して助成しています。間伐作業における労働災害の防止と伐木技術の向上を図るため、2月2日に白石市において林業労働災害防止講習会を開催し、仙南地域の森林組合や林業事業体の職員、作業班員など26人が参加しました。

当日は雪の降る中、白石市福岡深谷の私有林において、間伐木の選木方法、切捨間伐における伐採時の注意点、かかり木処理の方法などについて実技指導を行うとともに、白石市林業総合センターにおいて、労働災害の発生状況やチェーンソーのメンテナンスについて講義を行いました。

安易な行動が災害に繋がることから、常に基本動作の徹底を図ることが重要であることを理解していただきました。



現地にて実技指導を受ける参加者

【地方振興事務所林業振興部】

柴田町上川名地区に農村レストラン「縄文の幸」オープン！



結城氏による祝辞

2月3日、農村レストラン「縄文の幸<sup>さち</sup>」のオープン式が開催され、柴田町内有志、環境エコ事業のスポンサーであるアサヒビール株式会社の社員など、総勢約80人が参加しました。

「縄文の幸」は柴田町上川名構造改善センター内に設けられ、地域住民でつくる「上川名地区活性化推進組合」（組合長：平間栄雄氏）の女性メンバー5人が中心となり運営しています。

平間組合長はあいさつの中で「郷土料理を食べてもらい、食事した人も地元の人にも幸せになるようにしたい」と述べていました。

またこのオープン式と併せて、地域活性化のけん引役として上川名地区を指導してきた結城氏の第61回河北文化賞受賞を祝い、その上で、上川名地区から「第1回上川名文化賞」を授与しました。結城氏は「『第1回』の栄えある受賞ありがたい。次年度はアサヒビール(株)が受賞できるように継続して欲しい」と会場を沸かせていました。

さらに結城氏のご祝儀代わりに持参した縄製の器に話題が集まったほか、今後の取り組みとして縄文土器になぞらえた食器類製作にまで話が及び、また新たな目標が生まれました。

上川名地区では毎年6月ごろにホテルが見られ、近くには県指定史跡「富沢磨崖仏群」、上川名貝塚を訪れるハイキングコースもあります。こうした自然や史跡を訪れる人たちが立ち寄り、食事をする観光拠点となることも目指しています。

「縄文の幸」では、つきたてのずんだ餅や納豆餅をメインとしたランチ(1000円)のほか、宴会や弁当の予約販売、餅つきの出前も行います。予約に応じて営業する形態で、ランチは午前11時～午後2時、宴会は午前11時～午後9時の時間帯で応じています。いずれも10人以上の予約が必要(弁当は20個以上の注文)です。皆さまも一度お越しください。

【地方振興事務所農業振興部・農業改良普及センター】

広域農道仙南東部地区「金ヶ瀬さくら大橋」現場研修会を開催！

地方振興事務所では、平成24年度の完成に向けて、大河原町金ヶ瀬地区を流れる白石川に架かる「金ヶ瀬さくら大橋」の上部工事を行っています。金ヶ瀬さくら大橋は、角田市から村田町をつなぐ広域農道(仙南東部地区)の一部であり、農産物の集出荷や加工プロセスの一元化など、産地としての競争力向上を促進するものです。

県内の農業農村整備関係職員らの今後の業務の参考としてもらうため、1月26日、金ヶ瀬さくら大橋の工事現場を会場に現場研修会を開催しました。

当日は県内各地から職員33人が参加し、事業担当者および現場代理人から概要の説明を受けた後、建設中の橋脚部へ移動して、実際の工事の様態を間近で見学しながら現場作業員の方からも説明を受けました。参加者からは「実際にこんなにも間近で作業現場を見る機会がなかったため、大変勉強になった」との声がありました。

公募によって命名された金ヶ瀬さくら大橋が、ますます地域に愛されるよう、今後は大河原町内小学校などを対象とした現場見学会を開催する予定です。

【地方振興事務所農業農村整備部】



工事現場を間近で見学

安全・安心な干し柿を生産するために

仙南地域は県内随一の干し柿産地ですが、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の放射能汚染による影響が心配されています。安全・安心な干し柿を生産するため、果実への放射性物質の移行を抑制する対策として、高圧洗浄機を利用した樹体洗浄と粗皮削りが有効であり、発芽前の3月末までに除染を行う必要があります。

このため2月9日、宮城県ころ柿出荷協同組合の主催で、組合事務所を会場に、柿の除染実演会が開催されました。

当日は、白石市、丸森町、角田市、蔵王町からほとんどの組合員が参加しました。

最初に、農業改良普及センターから、柿における放射性セシウム濃度の低減対策について説明し、その後メーカーによる機械の操作、樹体洗浄と粗皮削りの実演が行われました。

農業改良普及センターでは、安全・安心な農作物の生産に向け、今後も福島第一原子力発電所事故の被害対策を支援していくことにしています。

【地方振興事務所農業振興部・農業改良普及センター】



高圧洗浄機の操作について

NNスノーバスターズ出動！ ～七ヶ宿町湯原集落で除雪ボランティア～



NNスノーバスターズ 今年も出動

七ヶ宿町は県内一高齢化率の高い町であり、今年の大雪の除雪に少しでも手助けになればと、中山間の地域振興に取り組んでいる農業農村整備(NN)のメンバーが呼びかけ、昨年に引き続き「NNスノーバスターズ」(除雪ボランティア)を結成しました。

2月11日、祝日にもかかわらず、雪のちらつく中、みどりネット職員や大河原町職員、県職員ら総勢47人が参加。他県(佐賀県、徳島県及び兵庫県)からの災害派遣職員4人も参加いただきました。10班に分かれて、七ヶ宿町湯原集落の高齢化世帯など10軒の除雪作業を手伝いました。終了後には地元から「かんじき」体験のプレゼントもあり「大変助かりました。来年もお待ちしています」との声をいただきました。

【地方振興事務所農業農村整備部】

夢を育み 志に高めよう！

「志教育」の普及・啓発を図るため、県教育委員会より推進地区として指定を受けた角田中学校区の小・中・高等学校による事例発表会と講演会が、2月15日、角田小学校を会場に開催されました。

事例発表会では、角田小学校が「あいさつ運動」、横倉小学校が「外部人材を活用した道徳の授業」、角田中学校が「地域に役立つ資源回収」、角田高等学校が「進路探究」について、この1年間の取り組みを発表しました。

講演会では、上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝氏が「与える者は与えられる」と題して「人に喜びや幸せを与えるために働くことが、自分の幸せにつながる」と熱く語りかけ、参加者を魅了しました。これを機に、仙南地域の志教育がますます盛んになり、子どもたちが夢を育み、志に高めていってくれることを願っています。



比田井氏による講演

【大河原教育事務所】

ものづくり産業の復興に向けた人材育成を推進



会議で情報交換

検定などの資格取得者が大幅に増加した」(工業系高校)などの意見が交わされました。

仙南地域のものづくり産業を担う人材の育成を推進するため、2月23日に県大河原合同庁舎で、地域の教育や産業、行政の関係団体が出席して、仙南地域産業人材育成プラットフォーム会議を開催しました。

始めに社団法人みやぎ工業会から、工業高校と産業界が連携した技術指導などの取り組み(みやぎクラフトマン21事業)が紹介され、その後の情報交換では「積極的に企業を活用していただきたい」(企業団体)や「産学官連携の取り組みにより技能

「地域の人材は地域で育てる」の基本理念の下、平成22年度から開催している会議ですが、回を重ねる度、顔の見える関係がより一層強固なものになり、これまで以上に、仙南地域のものづくり産業の本格的な復興に向けて連携協力して取り組んでいくことが期待されます。

【地方振興事務所地方振興部】

橋梁の耐震強化対策・長寿命化事業の推進

現在実施している緊急輸送路などの橋梁耐震化は、平成24年度で完了する予定です。東北地方太平洋沖地震において橋梁耐震化の有効性が確認されたことから、土木事務所では、地域の主要な幹線道路についても、引き続き橋梁耐震化事業を計画的に進めていくことにしました。

また完成後50年以上の橋梁が、今後急速に増加する中、これらの橋梁を大規模な修繕や架換えす



予防保全型の維持管理

ることなく、合理的かつ効率的に維持管理することが重要となっています。そこで県では、限られた予算の中で、橋梁の安全性を確保するため、従来の「傷んでから治す」事後保全型の維持管理から、「傷みが小さいうちに計画的に対策を行い長持ちさせる」予防保全型の維持管理に転換を図る「橋梁長寿命化計画」を策定し、修繕工事を実施しています。

工事の際には、通行規制を行う場合もあるため、皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしく願います。

【土木事務所】

お知らせ

自動車税の課税トラブル防止のための手続きを

既に自動車を使わなくなったり譲渡したりした場合でも3月中に運輸支局で抹消・名義変更の登録をしないと、現在の名義の方に平成24年度の自動車税が課税されます。3月は登録件数が多く窓口が混雑しますので、登録がお済みでない方はお早めをお願いします。



住所変更の場合も運輸支局で車検証の住所変更が必要ですが、3月中に登録が間に合わない方は、下記ウェブページから納税通知書の住所変更をしていただくか、県税事務所へご連絡ください。

宮城県税務課のウェブページ <http://www.pref.miyagi.jp/zeimu/>

宮城県大河原県税事務所 0224(53)3113

【県税事務所】

サギ類の集団繁殖地に注意

サギは水田や水辺でよく見かける身近な野鳥です。特に白いサギは美しく、民話では縁起が良い鳥にされることが多いようです。

しかしこのサギが住宅近くに集団繁殖地(コロニー)をつくってしまうと、ふんや腐敗臭、騒音などで住民生活に大きな害をもたらしてしまいます。

いったんコロニーが形成され産卵が始まってしまうと、野鳥の保護のため追い払えなくなってしまうので、コロニーをつくる前に次の自主防除策を行うことが重要です。

コロニーになる木や竹を伐採する(除伐してまばらにするだけでも効果あり)。

3月中は数日おきにサギが来ていないか夕方に観察し、いる場合は爆竹やロケット花火で追い払う。

サギが来ている夕方に伐採や下刈などの作業をし、人の姿を見せる。

ラジコン飛行機・ヘリコプターで追い払う。



サギの集団繁殖地

【地方振興事務所林業振興部】

歳時記(3月~6月)

日程や時間、内容が変更されることがありますので、お出掛け前にご確認ください。

月	日	行事	市町	月	日	行事	市町
三	3日	桃の花キャンペーン	蔵王町	五	3日	白石市民春まつり	白石市
	4日	七ヶ宿ジャイアントスラム大会	七ヶ宿町		3~4日	丸森 手しごと展	丸森町
	10日	南蔵王アルペンスキー大会・スキー技術選手権大会	白石市		3~5日	サクラソウ展	白石市
	11日	小斎鹿島神社奉射祭(やぶさめ)	丸森町		3~5日	全日本こけしコンクール・地場産品まつり	白石市
	24~25日	むらた町家の雛めぐり	村田町		5日	かくだ宇宙っ子まつり	角田市
月	24~25日	小京都むらた写真展	村田町	月上旬	あぶくまの里 たけのこ狩り	丸森町	
	1日	久須志神社祭礼	柴田町	12~13日	母の日カーネーションフェア	村田町	
四	1日~	甲冑のまちしろいしフォトコンテスト	白石市	12~13日	丸森いち	丸森町	
	6日	水芭蕉の森・どうだんの森開園式	白石市	13日	春の幸まつり	七ヶ宿町	
月	6~22日	しばた桜まつり	柴田町	19~20日	呑んべん駄祭り~	蔵王町	
	7~30日	白石城桜まつり	白石市	19日~6月10日	シロヤシオツツジ散策観賞	蔵王町	
月	月上旬~6月下旬	丸森 春の花さんぽ	丸森町	20日	田んぼアートでGOコンだ!(田植え)	角田市	
	13日	玉の木原水芭蕉群生地オープン式	七ヶ宿町	20日	日本の蔵王ヒルクライム・エコ2012	蔵王町	
月	13~25日	おおがわら桜まつり	大河原町	20日	蔵の町むらた春まつり	村田町	
	14日~5月6日	みちのく公園・花のフェスティバル	川崎町	20日	蛇藤まつり	村田町	
月	17日~5月20日	齋理屋敷初夏の企画展「端午の節句」	丸森町	20日~11月25日	遠刈田温泉朝市(毎週日曜日)	蔵王町	
	中旬	神明社春の祭典	川崎町	26~27日	南蔵王夏山開き	白石市、七ヶ宿町	
月	中旬	阿武隈ライン舟下り安全運航祈願祭	丸森町	下旬	北蔵王縦走夏山開き	川崎町	
	21日	一目千本桜マラソン	柴田町	5月下旬~6月上旬	齋理屋敷特別企画展「山野草水石展」	丸森町	
月	21~22日	呑んべん駄祭り~	蔵王町	六	1日~7月31日	まるごとうーめんまつり	白石市
	22日	JAXA角田宇宙センター一般公開	角田市		2~3日	大道芸フェスティバルinとおがた	蔵王町
月	25日~5月18日	えぼしすいせん祭り	蔵王町	月上旬	支倉常長まつり	川崎町	
	27日	蔵王連峰夏山開き・蔵王エコライン開通式	蔵王町	月上旬~下旬	ポピーまつり	川崎町	
月	27日~5月6日	春の洋ラン展in村田	村田町	16~17日	呑んべん駄祭り~	蔵王町	
	27日~5月31日	まるもりグリーン・ツーリズムおすそわけ博・春	丸森町	月中旬	手作り甲冑 甲冑展	白石市	
月	28~29日	アラバキロックフェスティバル12	川崎町	中旬	そら豆まつり	村田町	
	28日~6月10日	お~い!丸森スタンプラリー	丸森町	中旬	あじさい鑑賞会	柴田町	
月	29日	春の検断屋敷まつり	白石市	中旬	齋理屋敷特別企画展「押し花作品展」	丸森町	
	29日	松沢山の火まつり	丸森町	23日	まるごと味わいウォーキング	白石市	
月	29日~5月6日	かくだ菜の花まつり	角田市	23日	高蔵寺ホタルまつり	角田市	
	下旬	天神社春季例大祭	角田市	24日	うめ・梅まつりinかくだ	角田市	
月	下旬	蔵の工芸市	村田町	24日	おおがわら梅まつり	大河原町	
	下旬~5月上旬	スパッシュランドパークのシバザクラが見ごろ	白石市	備考	日程が変更になる場合がありますので、事前にご確認の上お出かけください。		
月	下旬~毎週土日祝	ございん市	蔵王町				

## みやぎ蔵王三十六景 春のお勧めスポット

## 船岡城址公園（柴田町）

船岡城址公園は、平成 2(1990)年 3 月、白石川堤の一目千本桜とともに「日本さくら名所 100 選」に選定され、桜まつりの期間は、毎年多くの観光客で賑わいます。平成 23 年 10 月に完成した展望デッキからは、残雪を抱いた蔵王連峰を一望できます。

公園内には、山本周五郎の小説「<sup>もみ</sup>縦ノ木は残った」の題名のヒントになったモミの木が高くそびえ立っています。この小説は、今から約 350 年前(万治 3 年)、仙台藩 3 代目藩主、伊達綱宗が不行跡を理由に幕府から隠居を命じられ、3 歳の亀千代が家督を相続したことに端を発し、後に伊達騒動とも呼ばれる寛文事件をテーマにしたもので、昭和 45 年、NHK 大河ドラマで放映されました。

高さ 24 ㍎の平和観音像が立つ公園の山頂へは、桜の季節に運行されるスロープカーが便利です。桜のトンネルをくぐりながら上っていくと、山頂からは蔵王の山々や太平洋が見渡せます。



## みやぎ蔵王三十六景クイズ

仙南地域には、四季を通して、みやぎ蔵王をはじめとする美しい風景やおいしい食べ物、歴史・文化など他に誇れる観光資源が数多くあります。仙南地域の小中学生にも、そのキラキラ輝く観光資源についての知識を深めてもらうため、平成 23 年 12 月にクイズを開催しました。

クイズには、仙南地域の小中学校 51 校、157 人から応募がありました。解答用紙には「親子で一生懸命調べました」「問題文に出された観光地に行ってみたい」といった感想を添えたものもあり、クイズが地域の魅力を再発見する機会になったようでした。見事全問正解された 32 人のうち、抽選で 20 人の方に地場産品の詰め合わせを、抽選に外れた方には記念品を贈呈いたしました。

「クイズ」と「解答及び解説」は、地方振興事務所ウェブページに掲載していますが、一番回答率の低かった問題をご紹介します。

蔵王は、いくつもの山からなる、奥羽山脈の一部を構成する連峰です。宮城県と山形県の両県南部の県境に位置し、千㍎を超える山がありますが、次の中で、宮城県内で最も高い山はどれでしょうか？（答えは欄外）

- 1 屏風岳      2 刈田岳      3 不忘山      4 熊野岳

次号は 6 月の発行予定です

内容についてのご意見、ご要望、お問い合わせなどは、下記までお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部

〒989 - 1243 柴田郡大河原町字南129 - 1

TEL : 0224 - 53 - 3199(直通) FAX : 0224 - 53 - 3076

e-mail : oksinbk@pref.miyagi.jp

答え「1 屏風岳」